

ふりがな 氏名	たなか たかひさ 田中 嵩久	都道府県	愛知県	
所属/肩書	一般社団法人アンビシャス・ネットワーク / 代表理事			
私のESD活動	貧困家庭の子どもへの新たな教育実践及び啓発活動			

活動の概要

学校や専門機関、家庭等と連携し本人を取り巻く環境を整えつつ、モチベーションやコーチングを使い本人の力を引き出すエンパワーメントアプローチを実践している。今まで多く行われてきた「分かりやすく勉強を教える支援」から「勉強が出来るようになる支援」=『福祉的教育』を提唱し愛知県半田市にて学生時代より貧困家庭の学習支援事業に取り組む。ボランティアとして学生時代にサークルを立ち上げ、現在は法人に移行し市の委託事業として継続的に実践している。様々な要因から参加の継続が難しい貧困家庭の学習支援において、毎月の参加率は9割を超え、昨年は入所当初偏差値40ほどの子が卒業後は偏差値60以上の高校に進学も果たしている。また、実践報告及び子どもの貧困の啓発活動を全国で行いつつ、全国組織への指導等も行っている。

現在は2020年の教育改革に向け、オランダのオールタナティブ教育の中で注目されているイエナプラン教育を実践するため研究に力を入れており、今年中にオランダの学校へ視察に行くことにもなっている。

子ども自身が一方的に決められた学びをするだけでなく、身近な学びの種から、考え、正しさを自ら判断することのできる教育を実践している。この実践では地域も巻き込みながら、子どもの育める土壌をつくり持続可能な血の通った地域づくり、「子育て支援」を目指している。

○「一般社団法人アンビシャスネットワーク」 <https://ambitious-network.jimdo.com/>

○アンビシャス・プロジェクト「ころむすび」 <https://www.youtube.com/watch?v=GAN7BtzWFwo>

今後の活動や協働への展望

今回のコンファレンスを通し、まずは他の実践を受け止め、理解し、良い面は現場に提案しながら、必要なものについては実践していこうと思っている。特に私たちは団体自体が若く、経験が乏しい面がある。そのため、現在関わる子どもたちのためになると判断されるものに関しては積極的に取り入れ実践していくことが今後の発展になると考えている。また具体的な発展については、違う視点から関わる子どもたちを見ることから始めようと考えている。私たちは貧困家庭の子どもたちを対象に関わってきた。今回、別の対象の子どもたちを対象に実践に取り組んでいる実践者と出会える。それぞれの子どもの見方から、今関わる子どもたちを今よりも多角的に捉えることから今後の発展に繋げていきたいと考えている。

また、ESD日本ユースの一員として今後自身がどのようなことが出来るかについてもまだ具体的に見えていません。そのため、今回の繋がりを通し、まずは先輩方の実践や協働している事業を学ばせてもらうことから始め、自身の経験や他者の実践がより促進するように努めたいと考えている。